

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 当科における卵巢腫瘍茎捻転発症のリスク因子の検討
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 小児外科 （研究責任者）渡邊 揚介
＜研究期間＞ 承認日 ～ 令和 7（西暦 2025）年 12 月 31 日
＜対象となる方＞ 西暦 2014 年 1 月 1 日～西暦 2023 年 12 月 31 日の期間に卵巢腫瘍と診断し、小児外科で手術を行った初診時 20 歳未満の方
＜研究の目的＞ 卵巢腫瘍は時に茎捻転といって、大きくなった腫瘍によって卵巢と子宮をつなぐ部分がねじれてしまうことがあります。茎捻転を生じると急激な強い腹痛が起き、緊急手術を行う必要があります。 この研究は、（小児）卵巢腫瘍において茎捻転を起こした患者さんと起こさなかった患者さんについて診断時の状況や術後経過を比較することで、茎捻転の可能性のある要因を明らかにし、適切な治療時期を検討することを目的としています。
＜研究の方法＞ 対象期間に卵巢腫瘍と診断し、当科で手術治療を行った患者さんを対象とします。これらの患者さんについて、診療録（カルテ）から身体所見や血液や画像などの検査所見、手術時の所見や術後経過を調査します。調査した内容を統計学的に分析し、茎捻転を生じるリスク要因を抽出します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ ●身体所見：手術時の年齢・身長・体重など ●検査：血液検査、超音波や CT・MRI 検査の所見、摘出した腫瘍の組織 ●手術に関する項目：画像検査で茎捻転と診断した場合、手術所見の正しさ、選択した手術方法 ●術後経過に関する項目：再発の有無
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 小児外科 氏名：渡邊 揚介 電話：03-3972-8111 内線：（医局）2452 （PHS）8166

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方